

～読んでみない？こんな本～

せかい1おいしいスープ

マーシャ・ブラウン 再話・絵 ペンギン社



表紙には、お鍋を前にして踊る兵隊と村人が描かれています。この鍋のスープが、まさに「世界一おいしいスープ」なのです。なんと石からできたスープなんですよ。なぜこんなスープができたかといいますと…

腹ペこの3人の兵隊が、故郷へ帰る途中である村へ立ち寄ります。村の人に食事と寝場所を分けてくれませんか？と頼むのですが、どの人からも、何もないから食事を分けてあげることもできないし、泊まる場所もあげられない、と断られる始末。実は、村人達は兵隊に物を分けるのが嫌で、食べ物をあちこちに隠し、嘘をついていました。ならば、と兵隊達は相談し、広場でさげびました。「村の皆さん！（中略）この村にはなにもありませんでした。しかたがないから、石のスープを作ります。」

その作り方は本を読んでのおたのしみ。兵隊の作ったこのスープは、王様のスープと言ってもいいくらい、おいしかったそうですよ。

ちょっと頭を使っただけで、兵隊も村人もお腹いっぱいになって、しかも幸せな気分のまま終わるおはなしに、読んでいるほうも思わずくすくすと笑っちゃいます。